

決算書の例

団体の会計年度において、総会や会計報告などが済んでいる、直近の決算書

平成〇〇年度決算書			
項目		金額	内容
収入の部	会費	60,000.-	@500円×12ヶ月×10人
	入会金	0.-	
	繰越金	819.-	前年度繰越金
	雑収入	1,095.-	銀行利息、寄付等
	計	61,914.-	
支出の部	会議費	6,100.-	総会会場使用料、議案書印刷等
	通信費	2,000.-	郵券、電話料金等
	消耗品費	6,860.-	事務用品の購入等
	定例会実施費	37,200.-	会場費@3,100円×12ヶ月
	印刷費	3,000.-	会員募集チラシ印刷等
	備品	5,670.-	教材資料の購入等
	予備費	0.-	
	繰越金	1,084.-	次年度繰越金
	計	61,914.-	

積算(単価×数量)を表すことで、活動の見直しや年間計画の話し合いがしやすくなります。

「予備費」と「繰越金」は違います。

団体の計画的な活動のためにも決算書や予算書は必要です。

予算書の例

最新(決算書の翌年度分)の予算書

平成××年度予算書(案)			
項目		金額	内容
収入の部	会費	60,000.-	@500円×12ヶ月×10人
	入会金	0.-	
	繰越金	1,084.-	前年度繰越金
	雑収入	500.-	銀行利息、寄付等
	計	61,584.-	
支出の部	会議費	6,100.-	総会会場使用料、議案書印刷等
	通信費	3,000.-	郵券、電話料金等
	消耗品費	10,000.-	事務用品の購入等
	定例会実施費	18,600.-	会場費@1,550円×12ヶ月
	印刷費	5,000.-	会員募集チラシ印刷等
	備品	10,000.-	教材資料の購入等
	予備費	8,884.-	
	計	61,584.-	

予算書における「収入の合計」と「支出の合計」は同じですか？
計画的に進めていますか？

必要な項目が省かれていたり、
不必要な項目がありませんか？

※活動が一年未満の団体は予算書だけで結構です。